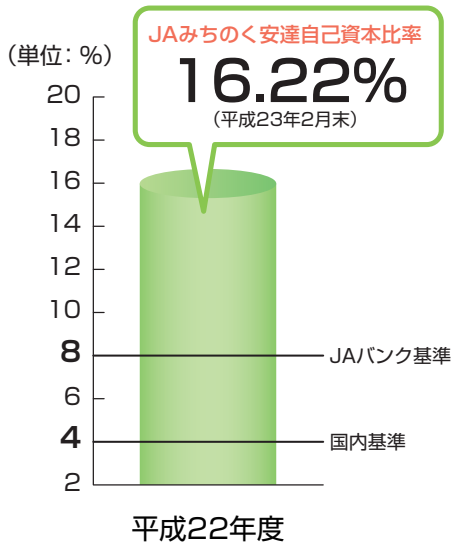


みちのく安達の決算ダイジェスト

J Aみちのく安達の経営状況についてお知らせいたします。

I 自己資本比率



自己資本比率とは？

J Aが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。この比率が高いほど、不良債権処理等に対する備えが充実していることを示します。

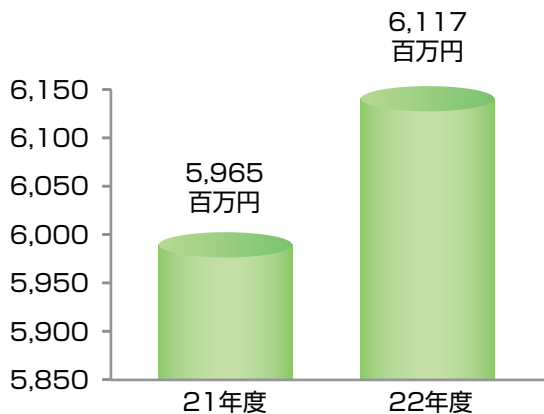
自己資本比率の基準

国内基準……4%以上
(国内だけで事業を行う金融機関の法的基準)

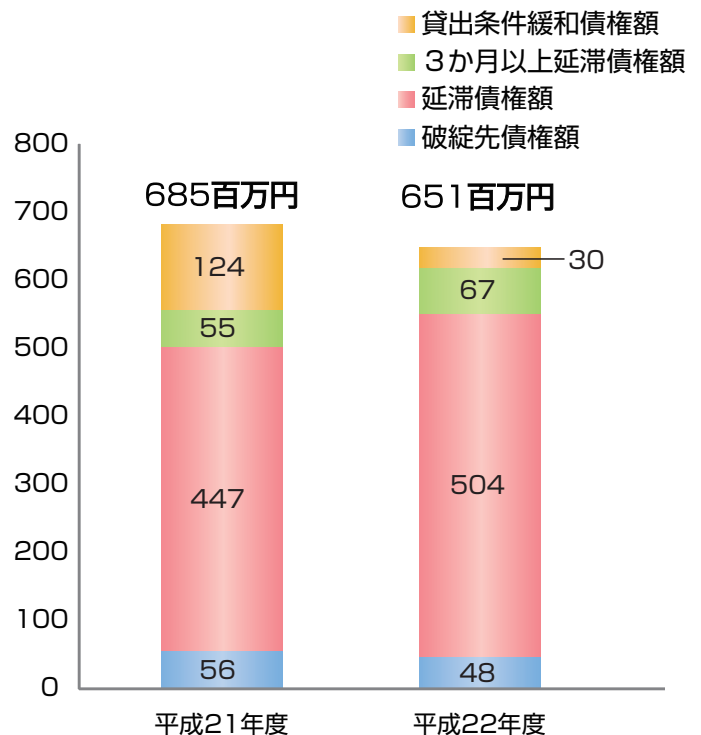
J Aバンク基準…8%以上

J Aは国内基準の「4%以上」に該当しますが「J Aバンク基本方針に基づくJ A独自の基準」により「8%以上」と健全性のハードルを上げています。

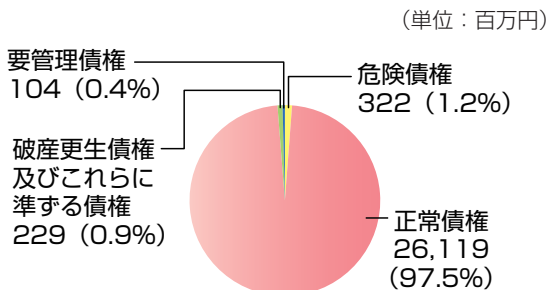
II 自己資本総額



III リスク管理債権



IV 金融再生法開示債権額(平成22年度)



(注)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
法的破綻等による経営破綻に陥っている債権者に対する債権およびこれらに準ずる債権
- 危険債権
経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本および利息の回収ができない可能性の高い債権
- 要管理債権
3か月以上延滞貸出債権および貸出条件緩和貸出債権
- 正常債権
上記以外の債権

リスク管理債権とは？

J Aは地域の利用者を対象として貸出を行っていますが、何らかの事情で返済不能や返済が延滞となった債権をいいます。

(注) 単位未満を切り捨てて表示している為、各数表上の数字は合計しても合計欄と一致しません。

V 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成21年度	平成22年度	科 目	平成21年度	平成22年度
	平成22年2月28日	平成23年2月28日		平成22年2月28日	平成23年2月28日
(資産の部)			(負債の部)		
1. 信用事業資産	89,422,429	85,352,058	1. 信用事業負債	90,855,539	87,722,820
(1)現金	546,484	556,101	(1)貯金	86,796,459	83,743,241
(2)預金	53,038,307	50,708,696	(2)譲渡性貯金	500,000	450,000
(3)有価証券	5,861,878	7,013,648	(3)借入金	1,645,897	1,528,474
(4)貸出金	27,914,671	25,153,858	(4)その他の信用事業負債	319,444	452,047
(5)その他の信用事業資産	757,750	633,506	(5)債務保証	1,593,737	1,549,056
(6)債務保証見返	1,593,737	1,549,056	2. その他の事業負債	1,405,784	1,534,165
(7)貸倒引当金	△ 290,399	△ 262,808	3. 諸引当金	1,172,598	1,076,717
2. その他の事業資産	1,484,307	1,602,719	4. その他の負債	765,562	705,441
3. 雑資産	232,793	1,125,694	負債の部合計	94,199,485	91,039,147
4. 固定資産	4,248,083	4,201,031	(純資産の部)		
5. 外部出資	4,784,301	4,789,761	1. 出資金	2,988,057	2,970,804
6. 繰延税金資産	337,052	353,217	2. 利益剰余金	2,274,021	2,422,998
			3. その他の純資産	1,047,402	991,531
			純資産の部合計	6,309,481	6,385,334
資産の部合計	100,508,967	97,424,482	負債及び純資産の部合計	100,508,967	97,424,482

VI 損益計算書

(単位：千円)

科 目	平成21年度 平成21年3月 1日から 平成22年2月28日まで	平成22年度 平成22年3月 1日から 平成23年2月28日まで
1. 事業総利益	2,823,929	2,765,405
信用事業総利益	1,024,489	935,521
共済事業総利益	1,149,725	1,133,017
購買事業総利益	375,973	366,255
販売事業総利益	212,268	260,833
その他事業総利益	61,472	69,773
2. 事業管理費	2,691,618	2,554,456
(1)人件費	1,998,609	1,896,482
(2)その他事業管理費	693,008	657,972
事業利益	132,310	210,948
3. 事業外収益	117,990	83,783
4. 事業外費用	72,277	44,374
経常利益	178,023	250,357
5. 特別利益	64,801	40,933
6. 特別損失	55,993	39,502
税引前当期利益	186,831	251,789
7. 法人税等	45,899	75,859
当期剰余金	140,932	175,929
前期繰越剰余金	33,924	31,361
再評価差額金取崩額	6,446	2,975
諸積立金取崩額	29,985	17,131
当期末処分剰余金	211,290	227,399

事業総利益

事業収益から事業費用を差し引いたものです。JAみちのく安達が得た利益の骨格部分といえます。別名「粗利益」と呼ばれます。

事業管理費

事業活動をした費用のうち、事業費用に算入されないものをいいます。一般的に事業収益に関係なく固定的に係る費用で職員の給与や減価償却費、賃借料などが含まれます。

経常利益

事業利益に本業以外で生じた収益・費用のうち経常的なもの（特別または臨時でないもの）、つまり営業外収益・営業外費用を加減したもので、当該事業年度の業績を最もよく反映する利益といえます。

税引前当期利益

経常利益に特別または臨時的損益、つまり、特別利益・特別損失を加減したものです。特別利益には一般補助金など、特別損失には固定資産処分損などがそれぞれ含まれます。

当期剰余金

税引前当期利益から法人税・住民税の納税充当額を控除した額で、利益処分の原資となります。一般企業の当期純利益にあたります。

(注) 記載金額は、千円未満切り捨てて表示しています。